

平成 1 8 年度 事業報告書

平成 15 年度から 3 か年にわたり取り組んできた経営改善計画の結果を踏まえ、平成 18 年度から平成 22 年度までを計画期間とする「2010 中期事業計画」を策定した。

中期事業計画のもと、事業の 3 本柱である「調査研究」、「情報収集・提供」、「人材育成・交流」の各部門において積極的な事業展開を図った。

また、事業の質的な向上、市民の施設利用の向上、事業の効率的・効果的な執行などに努めた。以下、平成 18 年度に実施した事業を報告する。

(事業報告の概要)

<p>1 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋のまちづくりを種々の角度から調査研究するため、学識者、市民、行政など幅広い視点からの自主研究・受託調査を行った。 一般研究 4 件のうち 1 件は、大学教授(客員研究員)との共同研究である。 研究成果については、機関誌に掲載するとともに、その概要をニュースレターやホームページで紹介するなど、積極的に情報提供を行った。 研究成果報告会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自主研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般研究 4 件 ・ 特別研究 2 件 ・ 市民研究 3グループ、12 名 (2) 受託調査 5 件
<p>2 情報収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの関心を高め、理解を深めるために、まちづくり広場やまちづくりライブラリーを運営するとともに、様々な方法によりまちづくりの情報提供を行った。 まちづくりライブラリーでは、企画展に連動した特集コーナーを設けるなど、利用者増に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) まちづくり広場の運営 (2) まちづくりライブラリーの運営 (3) 機関誌の発行 3 回 (4) 広報紙の発行 4 回 (5) ホームページによる情報提供 (6) 歴史的資料の整理
<p>3 人材の育成・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民のまちづくりへの関心を喚起し、人材を育成するとともに、交流の機会を設けるため、幅広く事業展開を図った。 子どもとまちづくりの視点から、夏休み期間中に参加体験型の企画展を実施するなど、企画展の充実を図った。 前期企画、後期企画を設け、地域の“まちづくりびと”養成講座の内容の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) まちづくり支援 地域の“まちづくりびと”養成講座の開催等 (2) まちづくり活動団体の助成 14 件 (3) 企画展の開催 (4) 講演会・セミナー等の開催 (5) まちづくり見学会の開催 (6) 国際技術交流の実施 他
<p>4 その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会議室の貸出・喫茶の提供 (2) 施設の管理

1 調査研究

(1) 自主研究

次の調査研究を行った。

調査研究 テーマ	<p>平成 17 年度から平成 19 年度までのメインテーマ 「成熟社会における『元気都市の構築』」</p> <p>平成 18 年度のサブテーマ 「人口減少・環境重視時代におけるビジネスと住生活の価値を高めるまちづくり」</p>
一般研究	<p>名古屋のまちづくりや都市計画行政の課題を的確に把握し、名古屋都市センターの職員が中心となって、次の調査研究 4 件を行った。このうち 1 件は、大学教授（客員研究員）との、昨年度から 2 ヶ年にわたる共同研究である。</p> <p>（研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活圏域の基礎的研究 ・ 都市環境軸に関する研究 名古屋のヒートアイランド対策としての水と緑を活用したパッシブ型都市づくりについて（共同研究） ・ 上下水道事業におけるアセットマネジメントに関する調査 ・ 都市における持続可能な資源循環のあり方に関する調査 名古屋市における B D F 導入の可能性 <p>平成 17 年度の研究成果について、11 月 17 日に名古屋市職員等を対象に報告会を実施した。</p>
特別研究	<p>「環境負荷をできるだけ少なくする名古屋の快適都市空間づくり」、「次世代が誇れる地域のまちづくりへの住民参加のあり方」など 5 つの研究課題を提示し、公募・選考の上、大学等の若手研究者 2 名を特別研究員として委嘱し、次の研究テーマについて調査研究を行った。</p> <p>（研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋市民による生ごみリサイクル活動に関する一考察 ～ステーション回収方式における排出行動の変化～ ・ 次世代型まちづくりのための住民参加システムのあり方
市民研究	<p>平成 17 年度から 19 年度までの研究テーマを「私たちの住む街なかの『魅力資産』の再発見とユニーク活用アイデア」とし、名古屋市内を 8 区域に分け、公募・選考の上、次の 3 グループ 12 名を市民研究員として委嘱した。</p> <p>グループ活動により、市民の視点からフィールドワークを中心とした調査研究を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">グループ 1（東区・守山区） 4 名 グループ 2（昭和区・天白区） 4 名 グループ 3（中川区・港区） 4 名</p> <p>平成 17 年度の研究成果について、5 月 27 日に市民等を対象に報告会を実施した。</p>

(2) 受託調査

名古屋市から、まちづくりに関する各種調査研究等を5件受託した。

(3) 都市政策研究会の開催

学識者、企業、行政などの第一人者によって、都市政策や地域政策、まちづくりのあり方を探求する都市政策研究会を2回開催した。

2 情報収集・提供

(1) まちづくり広場の運営

- ・ 名古屋のまちづくりの足跡、まちづくりの方向性などを紹介する常設展示コーナーを運営するとともに、常設展示の更新に向けた検討を行った。
- ・ 都市センター主催の企画展示を行うとともに、名古屋市、大学、団体、企業などがまちづくりに関するテーマを設けて紹介する企画展示コーナーの運営などを行った。

来館者：53,260名

(2) まちづくりライブラリーの運営

- ・ まちづくりに特化した専門図書館を運営し、まちづくりの専門家、まちづくりに関心のある市民に図書の閲覧、貸出を行うとともに、名古屋に関連する図書について歴史図書を中心に収集するなど、図書資料の継続的な収集整理を行った。

利用者	27,408名
登録者	3,081名
貸出数	4,279冊
収集図書	一般図書.....1,134冊(累計25,019冊) 調査報告書&行政資料...474点(累計16,290点) 定期刊行物.....250誌

- ・ まちづくり広場における都市センター主催の企画展示に連動した図書の特集コーナーを設けるなど、利用者数の増に努めた。

特集コーナー	期間
都市の環境とまちづくり展	4/1 ~ 5/14
Airport Now! 展	5/16 ~ 6/11
世界のコンペ作品集「都市と建築コンペティション」	6/14 ~ 10/9
「えっ こんな本もあるの？」	10/11 ~ 12/11
「元気名古屋」の雑誌特集	12/12 ~ 3/2
「名古屋いま・むかし物語」	3/4 ~ 3/31

(3) 機関誌の発行

編集方針等の見直しにより、紙面の充実を図った。まちづくりに携わる広範な人々の論文、都市センターの研究成果、名古屋のまちづくり情報などを紹介する機関誌「アーバン・アドバンス」を発行した。

号	テ - マ
第 40 号	都市内農地を活かした環境保全型まちづくり
第 41 号	拠点開発と都市の変貌
第 42 号	協働でつくる地域・まち・都市

(4) 広報紙の発行

名古屋都市センターの活動、名古屋のまちづくりの動きや新しい話題をわかりやすく紹介する広報紙「ニュースレター」を発行した。あわせてホームページにもニュースレターの内容を掲載した。また広告掲載により、広告料収入の確保に努めた。

号	特 集 記 事
第 68 号	もう万全ですか？ 防災対策とまちづくり
第 69 号	「元気なナゴヤ」注目される名古屋駅地区の変貌
第 70 号	「交通エコライフ」でめざす安全・快適なまちづくり
第 71 号	生まれ変わる東山動植物園

(5) ホームページによる情報提供

- ・ 掲載情報の整理、デザインの変更により、さらに利用しやすいホームページに一新し、名古屋都市センターの事業内容やこれまでに行った調査研究の概要を紹介するとともに、まちづくりデータブック、市民活動団体の紹介などのまちづくり情報の提供を行った。
- ・ まちづくりライブラリーの利用の便のため、図書検索システムの運営を引き続き行った。

アクセス数：444,503件

(6) 歴史的資料の整理

市史編纂業務を引き続き行った。

3 人材の育成・交流

(1) まちづくり支援

- ・ 「地域の“まちづくりびと”養成講座」の前期企画として、まちづくり活動団体の見学会を行い、後期企画として全7回の連続講座で、講義、グループワークを行った。

グループワークでは、西区四間道・円頓寺界隈をモデルに、タウンウォッチング、ヒアリング等を行い、ワークショップ形式で「まちづくり提案」を作成し、地元関係者や関係機関の職員などに提案内容の発表を行った。

前期企画（まちづくり活動見学会）	開催日	受講生
クリーン堀川の活動シリーズ（全3回）	7/8、9/9、9/30	28名
歴史的資産を活かしたまちづくり活動シリーズ（全3回）	6/24、9/16、10/5	30名
後期企画（「まちづくりに挑戦！」）	開催日	受講生
「まちづくりとは何か？」（三重大学助教授 浅野 聡） 「まちがよみがえる」（安城市助役 山田 朝夫）	11/11	22名
「まちづくりの進め方」（株）連空間設計 今村 敏雄） まちづくり提案の作成・発表	11/18、12/2、12/16、 1/13、1/20、1/27	

- ・ 名古屋市が緑区徳重地区で建設を予定している緑区東部方面地域センター（仮称）の計画案に地域住民の意見を反映するため、ワークショップの企画・運営に参画した（7月15・29日、9月2・23日）。
- ・ 市民が地域のまちづくり活動に取り組むための手引書として、「地域のまちづくり入門」を作成した。

（2）まちづくり活動団体の助成

- ・ まちづくり基金を活用し、6月18日に公開発表会、まちづくり基金運用委員会による審査を経て、次の団体のまちづくり活動への助成を行った。

部門（団体数）	団体名
まちづくり活動助成部門 （助成8団体、応募26団体）	有松まち普請の会、庄内用水を環境用水にする会、名古屋芸術の杜をみんなでつくる会、平和公園自然観察会、特定非営利活動法人子ども&まちネット、震災がーディアーズ、東区文化のみちガイドボランティアの会、特定非営利活動法人レスキューストックヤード
まちづくり活動はじめの 一歩助成部門 （助成6団体、応募6団体）	国道41号周辺地域の安全と環境をよくする会、岳見町ふれあいまちづくり、ほっとルームとみた、特定非営利活動法人在宅を支えるネットワーク・ほっと、名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク、Layered Map Nagoyaプロジェクト

- ・ 平成17年度活動成果報告会を5月27日に実施し、平成19年3月10日には、これまでの助成団体に呼びかけ、まちづくり活動団体交流会を実施した。21団体の参加により、積極的な情報交換を行った。

（3）企画展の開催

企画展示コーナーにおいて、名古屋のまちづくりに関連する企画展示を次のように行った。

子どもとまちづくりの視点から、夏休みには子どもの参加・体験型の企画を行うとともに、まちづくりライブラリーにおいても企画展に連動した特集コーナーを設けるなど、企画展示の充実に努めた。

展 示	主 催 者	期 間
都市の環境とまちづくり展 ～まちのヒートアイランド対策～	名古屋都市センター	4/1～5/14
見て・知って・楽しむ 空港って素敵な トコロ!「AIRPORT NOW!」展	名古屋都市センター	5/16～6/11
東海学生卒業設計コンクール 2006	日本建築家協会 東海支部	6/14～6/18
まちづくり活動助成団体活動報告展	名古屋都市センター	6/20～6/25
まちの文化遺産「屋根神さま」写真展	西区役所、名古屋都市センター	6/27～7/9
堀川パネル展	名古屋都市センター	7/11～7/20
子ども“だがねランド”に集まれっ! - 夏はやっぱり都市センターだがね-	名古屋都市センター	7/25～9/3
「持続可能な暮らしと社会」ドイツ環境 保全展	名古屋都市センター	9/5～9/24
中部の電力の歩いたみち 訪れてみよ う!ふるさとの産業遺産	中部産業遺産研究会 (後援:中部電力(株))	10/3～10/22
助成団体・NPO パネル展	地域の未来・志援センター、環境省 中部環境パートナーシップオフィス	10/24～11/5
建築物緑化展	(財)名古屋市みどりの協会、 (社)日本造園建設業協会	11/7～11/19
団地再生卒業設計賞展	名古屋建築会議、団地再生研究 会、(社)都市住宅学会中部支部	11/21～12/3
写真でつづる名駅の記憶	名古屋都市センター	12/6～1/7
全国大学・高専卒業設計展示会 2006	(社)日本建築学会	1/10～1/14
中川運河フォトコンテスト	特定非営利活動法人伊勢湾フ ォーラム	1/16～1/28
わたらしい住まいづくり	(社)愛知建築士会女性部会	1/31～2/12
大学教育による地域貢献展覧会	大同工業大学	2/14～2/25
名古屋いま・むかし物語	名古屋都市センター	3/4～5/6

(4) まちづくり講演会、セミナー等の開催

市民やまちづくりに関わる実務者を対象にし、まちづくり講演会、セミナー等を開催した。

ア まちづくり講演会

テ - マ	講 師	開催日	参加者
古地図から読み解く 名古屋のまちづくり	名古屋大学大学院環境学研究科教授 溝口 常俊	3/4	131 名
「モダン都市名古屋」 の魅力	甲南女子大学文学部助教授 馬場 伸彦	3/25	76 名

イ 企画展関連講演会

テ - マ	講 師	開催日	参加者
「中部国際空港セント レアと母都市名古屋」	基調講演「空港、経済そして環境 - 都市と空 港との結びつき」 ニューサウスウェールズ 大学名誉教授 ジョン・ブラック パネルディスカッション「中部国際空港と母 都市名古屋」	5/19	95 名

ウ まちづくりセミナー

テ - マ	講 師	開催日	参加者
ライフスタイルの変化とまち	サントリー次世代研究所部長 佐藤 友美子	8/25	91 名
コンパクトなまちづくりと交通 を考える	岡山大学大学院環境学研究科教授 谷口 守	11/9	45 名
水辺に託すまちの再生	政策研究大学院大学教授 篠原 修	1/31	93 名

エ シンポジウム等

テ - マ	共 催 者	開催日	参加者
市民参加行政を考える	パブリックハーツ	6/8	36 名
第 4 回都市計画系研究室紹介大会	(社)日本都市計画学会中部支部	10/6	30 名
名古屋市におけるコンパクトシティ を考える	まちづくりコンサルタント協議 会	10/27	27 名
日本都市計画学会中部支部・国際交 流セミナー	(社)日本都市計画学会中部支部	12/15	40 名
よみがえったか？中心市街地	愛知住まい・まちづくりコンサ ルタント協議会	12/20	68 名
名古屋の副都心・金山	中区きらめき隊	2/14	38 名
まちづくりと連携した名古屋市の 総合交通体系を考える	愛知住まい・まちづくりコンサ ルタント協議会	3/1	25 名
未来人へのメッセージ	堀川再生のための連携プロジェ クト 2006	3/21	50 名
名古屋の自然を語り継ぐために	名古屋の棲息生物調査実行委員 会	3/31	119 名

(5) まちづくり見学会の開催

賛助会員や市民を対象に、歴史的なまちなみ、建物の保存、その保存に向けたまちづくり団体の活動について、見学会を行った。

内 容		開催日	参加者
三重県桑名市「六華苑」	講座「庭園から見る六華苑」	10/15	35名
	現地見学	10/21	
ミッドランドスクエア（賛助会員対象）		11/15	40名

(6) 国際技術交流等の実施

まちづくりに関する国際技術交流として、国際協力機構（JICA）の研修を次のとおり行った。また、海外からの視察4件についても対応した。

研修内容	参加者	期間
国別研修「タイ国のための土地区画整理促進プロジェクトのための土地区画マスタープランコース」	3名	4/18～4/28
集団研修「都市整備実務コース」	16名	5/10～6/30
タイ国特設「土地区画整理促進プロジェクトのための換地計画作成研修」	3名	10/30～12/4

(7) まちづくり相談等の実施

来館者に対するまちづくり相談を実施するとともに、小・中学生や市民の方々への館内施設の紹介等を行った（29件）。

4 その他

(1) 会議室の貸出・喫茶の提供

・ 会議室の貸出

14階の会議室は、平均56.6%の利用率であった。

（参考）利用区分別使用率

午前（9時～12時）	午後（13時～17時）	夜間（18時～21時）
46.4%	73.2%	46.7%

・ 喫茶の提供

交流サロンにおいて、喫茶の提供を行った。

(2) 施設の管理

名古屋都市センターの施設について名古屋市から受託管理した。